

一般国道6号 茨城県北茨城市～福島県いわき市間 なこそ (勿来バイパス) 計画段階評価 第1回 説明資料の修正

1. 地域の状況	．．． 1
2. 計画段階評価区間の設定	．．． 2
3. 道路交通の状況と課題	．．． 3
4. 地域の状況と課題	．．． 7
5. 県境交通の状況	．．． 8
6. 政策目標の設定	．．． 9
7. 地域からの意見聴取方法	．．． 13
8. 今後の計画段階評価手続きの進め方	．．． 14

1. 地域の状況

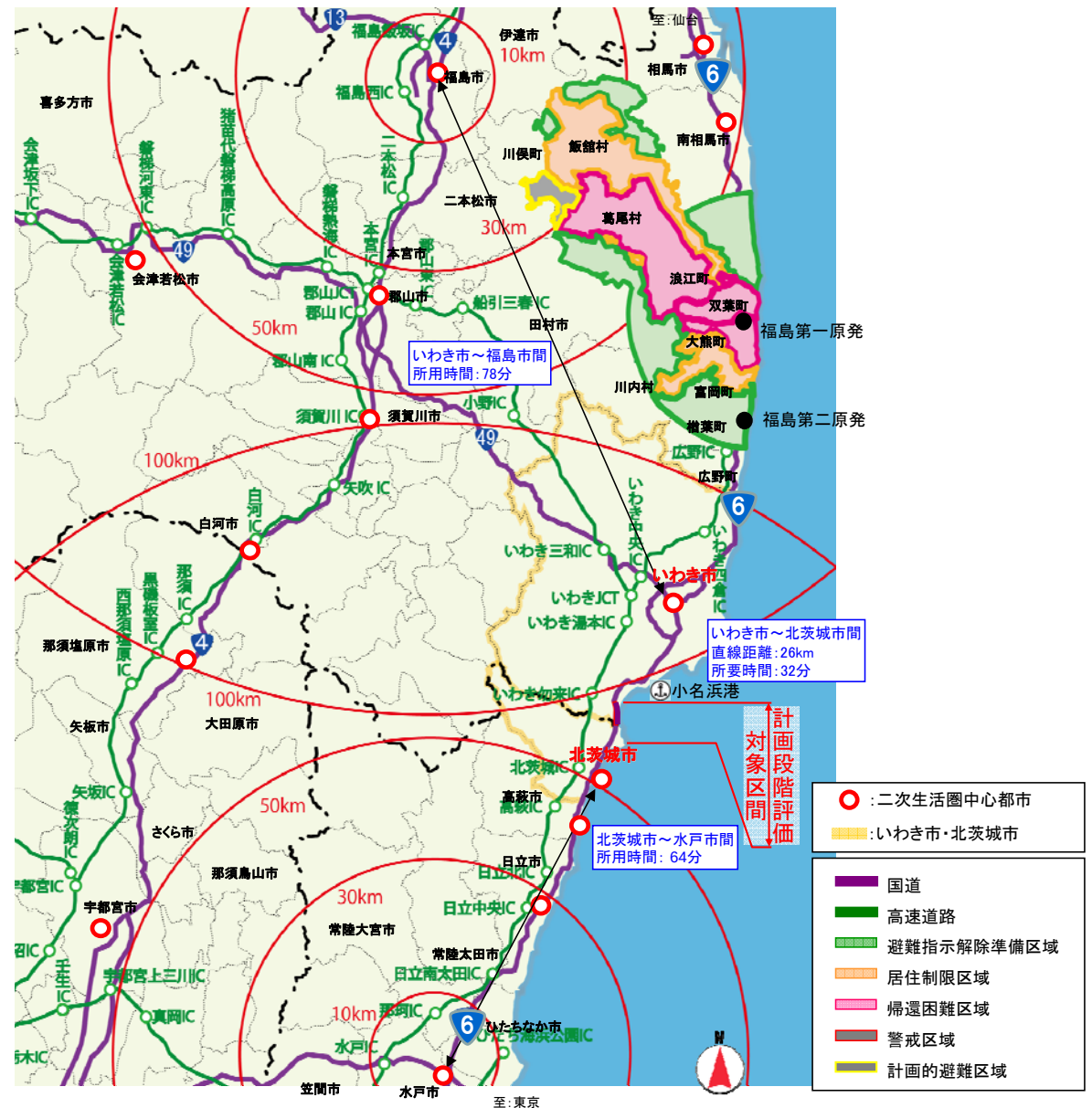
1

- ◆いわき市は県都福島市から南東約50～100km帯に位置しており、福島県沿岸部で唯一の中核市である。
- ◆北茨城市は県都水戸市から北東約50～100km帯に位置しており、茨城県最北端の都市である。
- ◆いわき市と北茨城市は、県境を越えた交流が盛んであり、通勤・通学、医療等の流動が多い。



市町村	人口 (H22)
いわき市	342,249
北茨城市	47,026
計	389,275

資料: H22国勢調査



2. 計画段階評価区間の設定

2

◆茨城県～福島県の国道6号における日立市～いわき市までの約35kmのうち、東日本大震災時の津波浸水による通行止めにおいて、代替路が無い北茨城市大津～いわき市^{なこそ}間の約6kmを計画段階評価区間に設定。

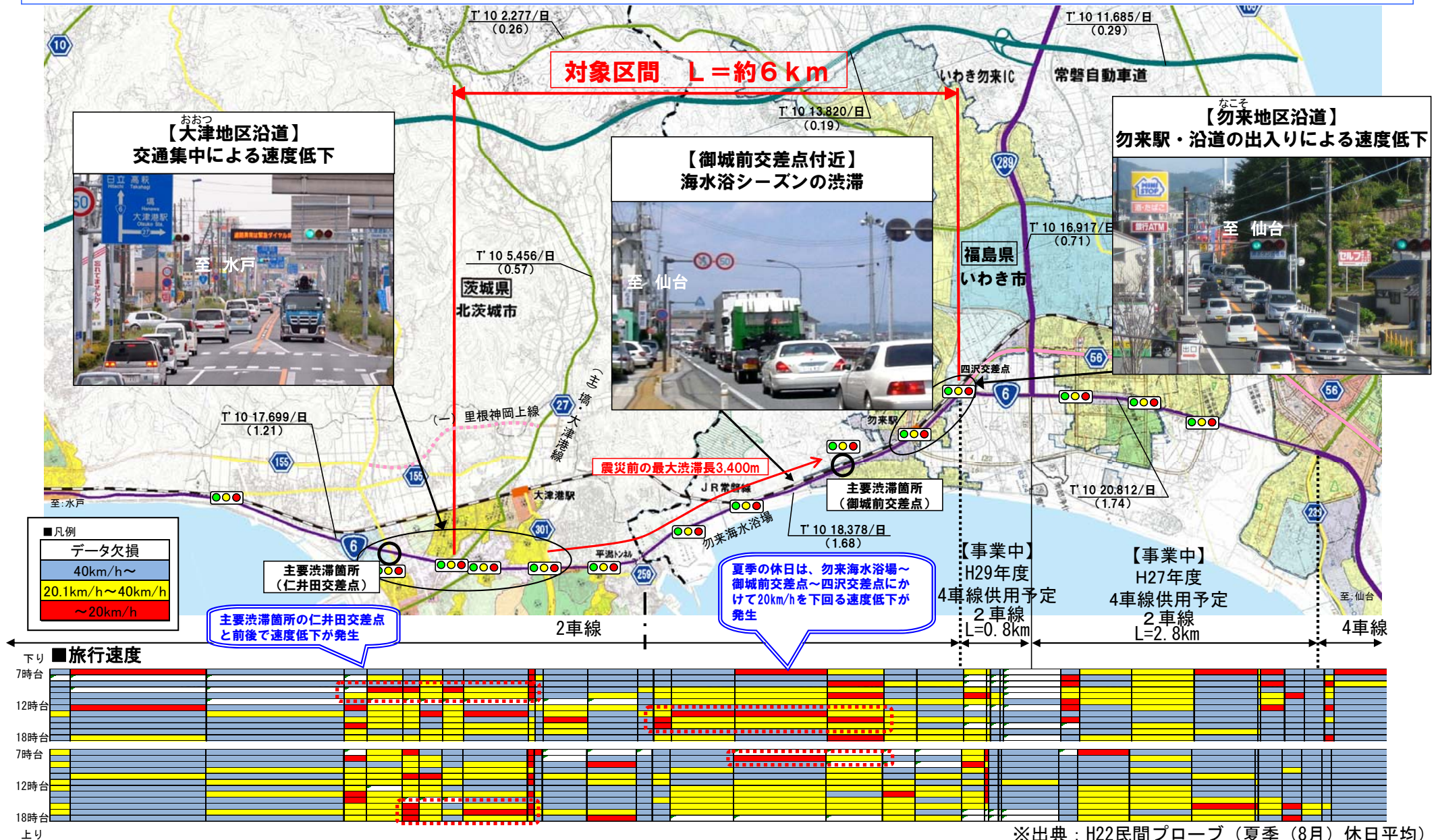


茨城・福島県間の国道6号の現況	交通量(台/日) (H22センサ)	21,077 (1.71)				17,699 (1.21)		18,378 (1.68)	20,812 (1.74)	51,989 (1.38)
	道路構造	R=120m				R=100m		R=70m	W=7.5m	
	主要渋滞箇所	東本町交差点 (高萩市)				高戸交差点 (高萩市)		南中郷駅入口交差点 (北茨城市)	仁井田交差点 (北茨城市)	
	交通事故 (単路・交差点部 100件/億台和以上)									
	津波浸水区域	0.3km				0.3km		1.1km	0.4km	
	都計道の整備状況	(主) 日立いわき線				(一) 高萩友部線		(一) 高萩塙線	(一) 高萩塙線 (事業中)	
	代替路の有無	有				有		有	有	

3. 道路交通の状況と課題（混雑時旅行速度）

4

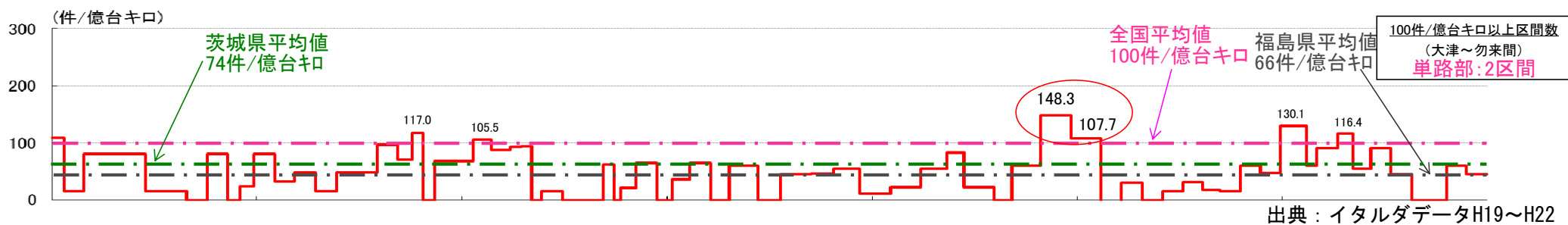
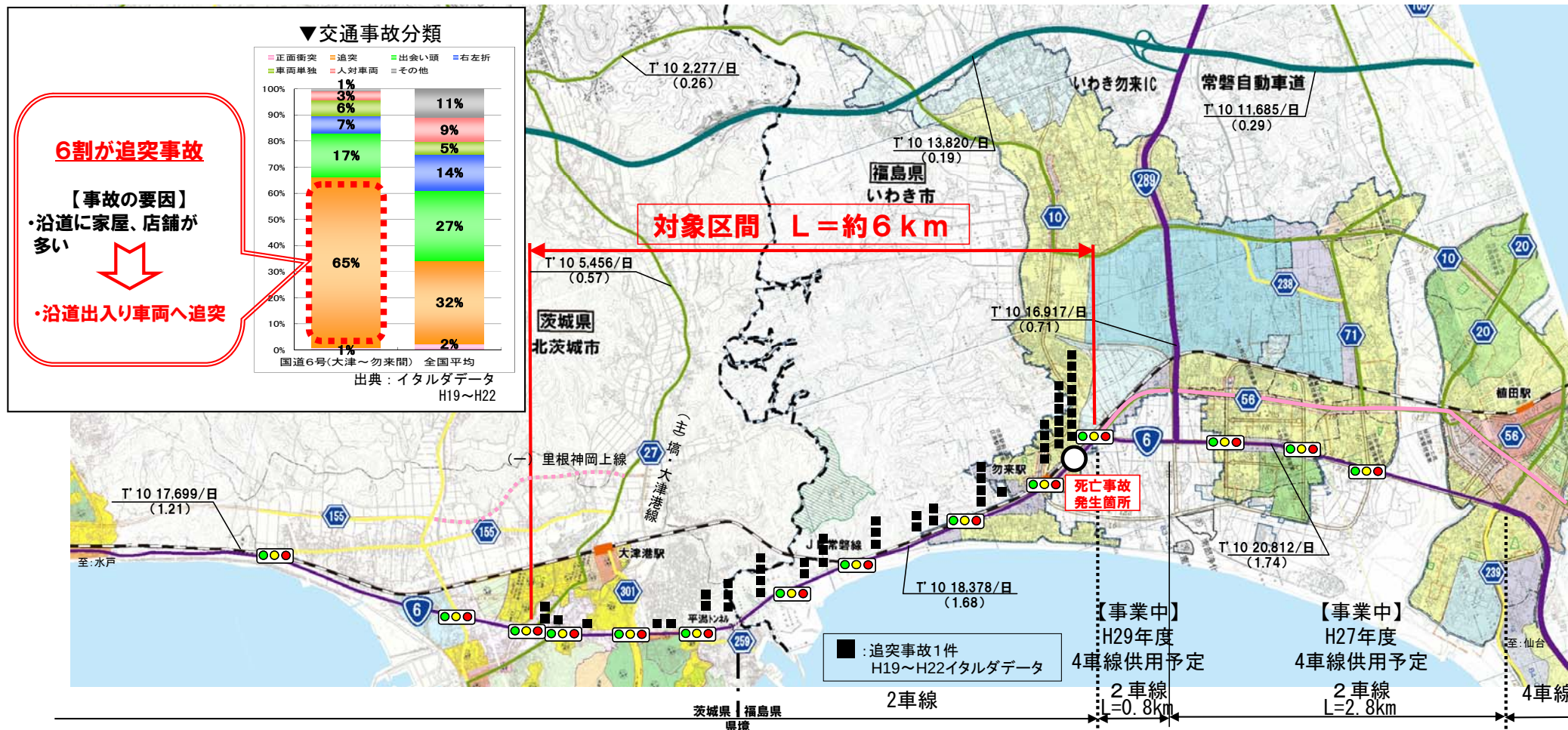
- ◆ 勿来地区は勿来海水浴場及び勿来の関等の入り込み客数の多い観光施設が有り、夏季の休日には旅行速度が20km/hまで低下。（震災前の勿来海水浴場客数：約20～37万人）
- ◆ 震災前は、海水浴シーズンに御城前交差点から3.4kmの渋滞が発生した。



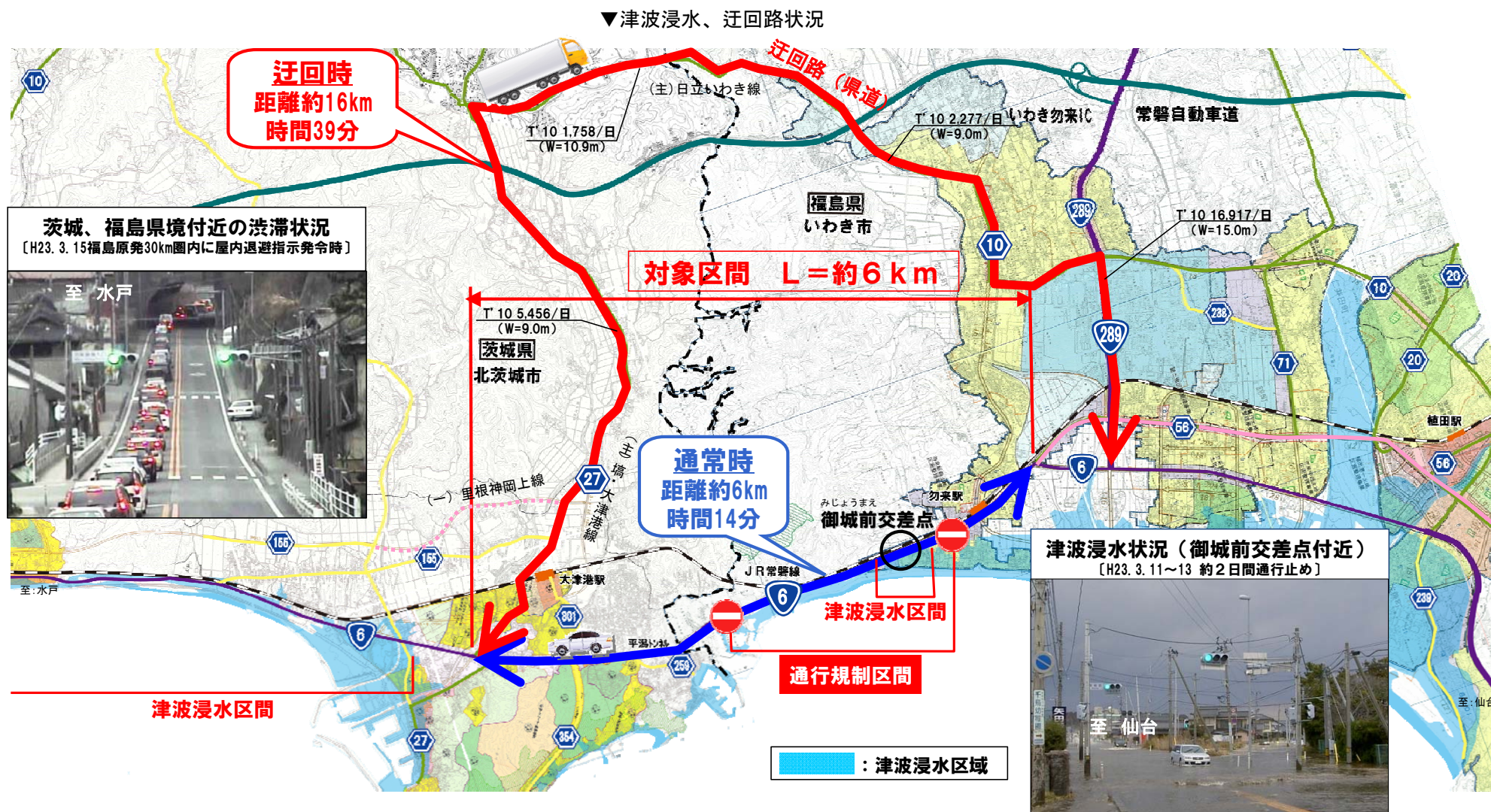
3. 道路交通の状況と課題（交通事故）

5

- ◆一般国道6号における大津～勿来間は追突事故が多く発生しており、全体の6割以上を占める。
- ◆死傷事故率の最も高い区間においては、死亡事故も発生している。（過去5年間の重大事故）



- みじょうまえ



4. 地域の状況と課題（医療）

7

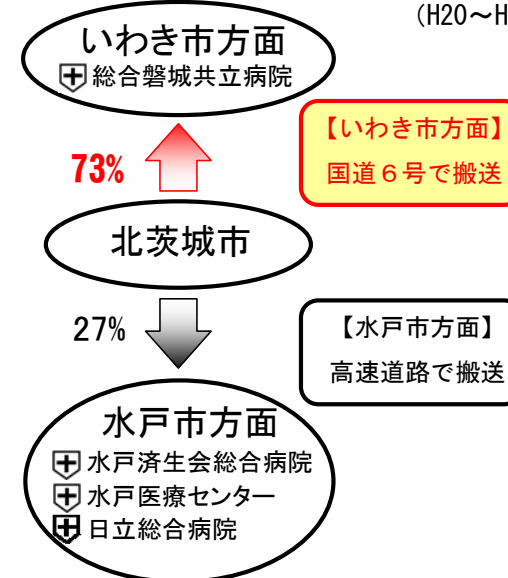
- ◆北茨城市には第三次救急医療施設が無いことから、重篤な患者はいわき市側の第三次救急医療施設へ搬送するなど県境を越えた結びつきが強い。（北茨城市からいわき市内の第三次救急医療施設への搬送実績はH20～H24年で261件）
- ◆一方、搬送経路の国道6号には、旅行速度低下・主要渋滞箇所、事故多発箇所、津波浸水区域（通行規制区間）などが存在し、速達性に劣る。



総合磐城共立病院 救命救急センター



▼北茨城市から第三次救急医療施設への搬送割合（H20～H24）



▼北茨城市から総合磐城共立病院への搬送実績

年度	H20	H21	H22	H23	H24	合計
搬送回数	34	43	66	64	54	261

北茨城市消防本部より

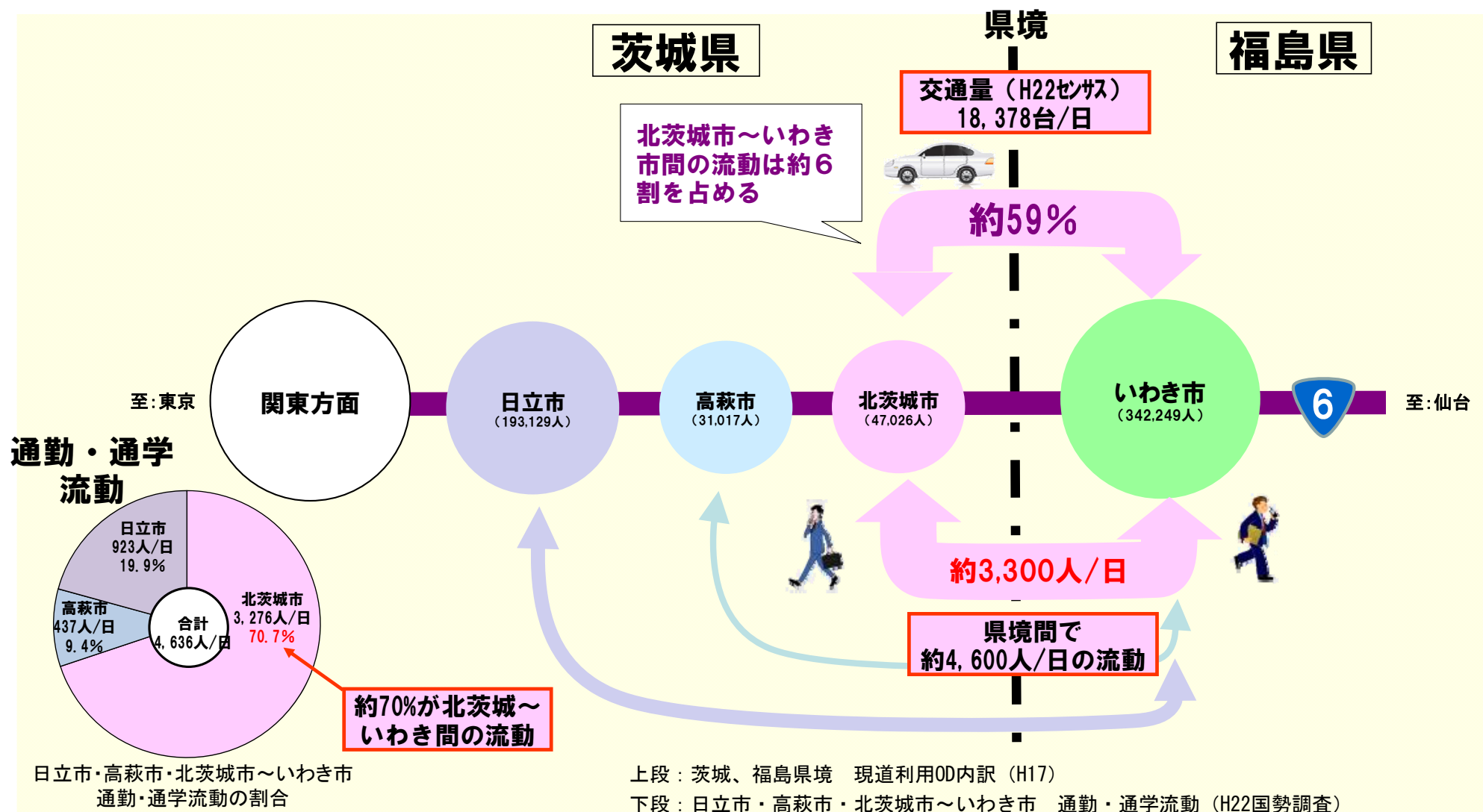
北茨城市消防本部からの声

- 北茨城市平潟地区～いわき市勿来地区の国道6号の幅員が狭い。
- 緊急走行時、大型同士が停車されるとすり抜け出来ない。
- 災害時の代替路を整備して欲しい。

5. 県境交通の状況（交通流動）

8

- ◆自動車交通において、国道6号を利用した北茨城市～いわき市間の流動は、県境断面交通量の約6割を占める。
- ◆また、通勤・通学においても、北茨城市～いわき市間の流動は県境断面の約7割を占める。



6. 政策目標の設定（道路交通・地域の課題とその原因）

9

		課 題	原 因
道路について	交 通	・ 2車線区間は旅行速度が低い ⇒交通量は17,699～18,378台/日（H22センサ）と2車線の交通量容量を上回り、混雑度も1.21～1.68と高い 〔※1.0未満は、昼間12時間を通して、道路が混雑することなく円滑に走行できる〕 ⇒主要渋滞箇所（御城前交差点）が存在 ⇒いわき市内の国道6号は震災前、観光期の旅行速度が20km/hを下回る	・ 県境は国道6号に交通が集中 ⇒現道の交通容量不足
	事 故	・ 事故多発区間が存在 ⇒死傷事故率100件/億台以上の区間が単路部で2区間存在 ⇒事故件数が高い区間では死亡事故も発生 ⇒大津～勿来間における事故の内、追突事故が全体の6割以上を占める	・ 沿道出入りの車両が交通の妨げになっている ⇒沿道施設（商店、人家等）が連担
	災 害	・ 国道6号が脆弱 ⇒東日本大震災の津波によりいわき市勿来地内の国道6号は浸水し、約2日間通行止 ⇒国道6号通行止め時、いわき市内は広域な迂回が生じる （通常時：約6km、14分 → 迂回時：約16km、39分） ⇒福島県側の国道6号において、今後津波警報が発令された際、通行止めの措置を講じる ⇒一次緊急輸送路である国道6号が津波浸水区域を通過するため、災害時に脆弱 ⇒福島第一原発事故からの避難車両の集中により渋滞が発生	・ 国道が津波浸水区域を通過 ⇒国道6号の近接に迂回路が無い ⇒迂回が広域
地域について	医 療	・ 北茨城市からいわき市側への救急搬送が多い ⇒北茨城市からいわき市の第三次救急医療施設（総合磐城共立病院）への搬送が5年間で261件実績有り（H20～H24）	・ 地域内に第三次医療施設が無く地域外に搬送 ⇒北茨城市からの搬送割合もいわき市側が多い
	流 動	・ 県境を跨ぐ流動が多い ⇒茨城～福島県間の流動において、北茨城市～いわき市間は自動車（H17センサス）・人（H22国勢調査）の流動が多い	・ 県を越えた交流が多い ⇒通勤、通学、医療など

6. 政策目標の設定（地域の将来像）

10

地域が目指す復興計画

茨城県の復興みちづくりアクションプラン

対策	主要施策（抜粋）
緊急輸送路の機能確保のための対策	■緊急輸送活動の時間軸を踏まえ設定した、「緊急輸送道路の目指すべき姿」の実現を図るため、<u>緊急性・重要性が高いネットワークから優先的に機能を確保します。</u> 〈対策実施方針〉 ○緊急輸送の際に、交通阻害が想定される次の箇所について、<u>拡幅やバイパス整備を実施</u>します。 ・駐停車車両等による阻害が想定される<u>日常的に交通量の多い主要幹線道路。</u>

福島県の復興計画（第2次）

地域別の取組	主要施策（抜粋）
いわき市 復興を支援する交通網の整備	■<u>浜通りの復興の基盤となる「浜通り軸」の早期復旧・整備</u>と、生活を支援する道路を整備するとともに、<u>浜通りと中通りをつなぐ東西連携道路など、災害に強い道路ネットワークを構築する。</u> 〈具体的な取組〉 ○<u>「浜通り軸」である国道6号については、久之浜バイパス・常磐バイパスの整備促進及び勿来バイパスの事業化を図る。</u>

北茨城市の震災復興計画

基本目標	主要施策（抜粋）
協働で希望あふれるまちづくり 2 社会生活基盤の復旧	■道路網の整備 ○<u>国道6号については、津波だけでなく大雨時冠水による不通区間が発生することから、早期の防災対策を国に要望します。</u> ■国・県等への要望事項 ○<u>国道6号の防災対策について国へ要望</u>します。 ○<u>国道6号の非常時迂回道路の整備を国・県へ要望</u>します。

いわき市の復興事業計画（第二次）

復興に向けた取組	主要施策（抜粋）
取組の柱3 社会基盤の再生・強化	■<u>災害時の円滑な避難を確保する観点から、一般国道6号・49号バイパスの整備促進を図るとともに、幹線道路網整備に努めるほか、災害時の通信手段を確保するため、情報通信基盤整備を推進するなど、災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。</u> 〈具体的な取組〉 ○主要幹線道路の整備促進 南部地域の主要幹線道路として、<u>一般国道6号勿来バイパスの新規整備についても要望する。</u>

6. 政策目標の設定（地域の将来像）

11

【凡 例】

○ 混雑関係

△ 事故関係

□ 防災関係

◇ 交流・連携関係

茨城県の総合計画

いきいき いばらき 生活大県プラン(改定) 〔H24.3月策定〕	施策(抜粋)
安全で安心して暮らせる社会づくり	■災害に強い県土づくり 災害時の物資輸送や救急活動等を円滑にするため、防災上重要な施設等へのアクセス強化など、<u>緊急輸送道路のネットワーク強化に取り組むとともに、緊急輸送道路を補完する代替ルートの確保</u> 【□】
人にやさしい良好な生活環境づくり	■生活交通環境の充実 交通円滑化を図る道路整備や交通危険箇所の重要点な整備など、<u>安全で円滑に通行できる道路交通環境を整備</u> 【△】

福島県の総合計画

ふくしま新生プラン 〔H24.12月策定〕	施策(抜粋)
交流基盤・物流基盤	■幹線道路の整備に関する取組 国道4号、国道6号、国道13号、国道49号、国道115号などの<u>幹線道路の整備を促進し、県土の連携軸を強化します。</u> 【◇】
地域別の主要施策(いわき地域)	■浜通りの復興拠点地域としての整備促進 浜通り復興の基盤となる、<u>国道6号、国道49号の整備等を促進する</u> 【◇】

北茨城市の総合計画

第4次北茨城市総合計画 〔H22.3月策定〕	施策(抜粋)
暮らしに安心 幸せを感じるまち(都市基盤)	■主要幹線道路の整備促進 日立市といわき市を結ぶ幹線道路「<u>新陸前浜街道</u>」の整備促進を関係機関に要請 【◇】
未来を支える 個性と活力のまち(地域産業の振興)	■工業基盤の充実 工業基盤の充実を図るため、<u>広域幹線道路やアクセス道路の整備を促進</u> 【◇】

いわき市の総合計画

ふるさと・いわき21プラン 後期基本計画 〔H22.11月策定〕	施策(抜粋)
IV. 交わり連携を深めよう	■道路網の整備・保全 市民生活に密着した生活道路の新設・改良・舗装の設備を実施することによる、<u>市民生活の安全性・利便性の向上</u> 【□】 【◇】 体系的な道路ネットワークの形成に向けて<u>幹線道の整備を行うことによる、交通渋滞の解消など円滑な交通を確保</u> 【○】

6. 政策目標の設定（整備方針の検討）

12

◆道路交通と地域の課題を解消するための整備方針を検討

◇道路交通と地域の課題を早期に解消する政策目標を設定

道路交通の状況と課題

地域の将来像

1. 交通容量の確保
2. 交通事故の減少
3. 災害に強い緊急輸送路の確保
4. 第三次救急医療施設への速達性
5. 県境を越えた結びつきの確保

◇対策案の検討方針

【交通関連】

- ・交通混雑を解消した円滑な道路とは

【事故関連】

- ・死傷事故率の高い区間の安全性を確保する道路とは

【災害関連】

- ・災害時に通行止めとならず、緊急輸送路として広域迂回とまらない道路とは

【医療関連】

- ・災害時においても、第三次救急医療施設への速達性が確保できる道路とは

【県境関連】

- ・県境を越えた結びつきを確保する道路とは

当該地域に求められるサービスレベルとは

- ①沿道利用の交通と通過交通の分離を図り幹線道路機能を確保する
- ②北茨城市～いわき市間で災害に強い道路ネットワークの確保

道路交通の状況と課題を解決し、地域の将来像を実現する複数案を設定し比較検討

以下のとおり地域から意見聴取を実施

【内容】

◇ 道路交通及び地域の状況と課題、道路整備の必要性に対する意見を広く聴取する。

【対象者・意見聴取の方法】

◇ 対象者

- ・当該区間道路利用者（いわき市勿来・小名浜地区、北茨城市、高萩市）
- ・当該区間での利用が想定される企業・救急等
- ・企業ヒアリングはいわき市北部も範囲とし、当該区間での利用が想定される産業関係、観光関係、病院関係、物流関係、学校関係

◇ 意見聴取の方法

- ・住民アンケート
- ・企業アンケート
- ・Webアンケート
- ・企業ヒアリング

※新聞広告等で幅広く広報を実施

【意見聴取期間】

◇ 3週間程度

【実施主体】

◇ 磐城国道事務所、常陸河川国道事務所

8. 今後の計画段階評価手続きの進め方（案）

14

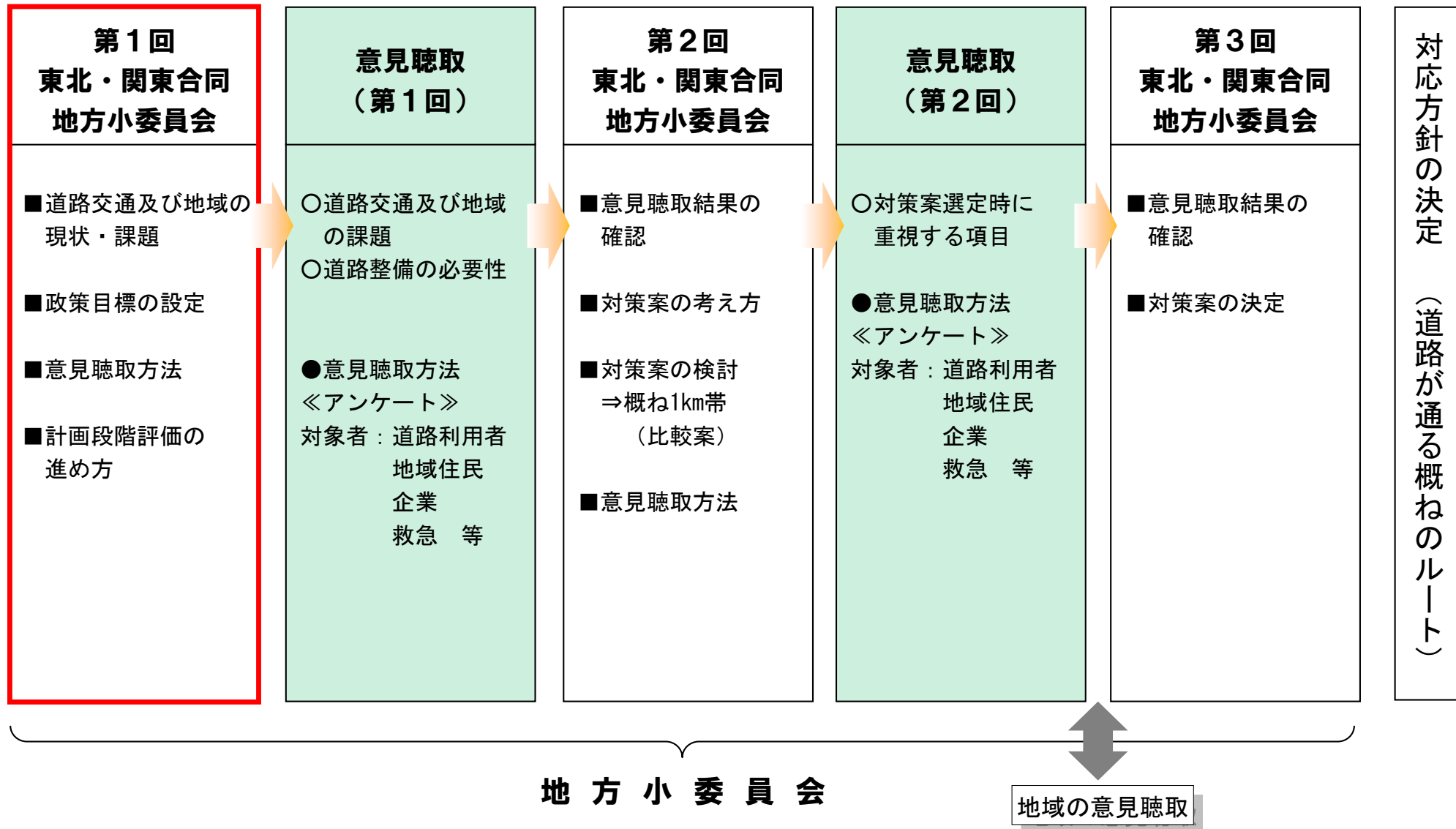
1. 今後の計画段階評価手続きの進め方、スケジュール（案）

地域住民や道路利用者の意見を聞きながら、道路計画〔概略の計画案（複数案）〕について検討を行う。

今回

【平成25年6月】

【平成25年6月～】



8. 今後の計画段階評価手続きの進め方

15

2. 意見聴取の基本方針

道路交通、地域の状況と課題、道路整備の必要性に対する意見を伺う。

意見聴取の項目	把握する意見
道路交通及び地域の課題	国道6号や地域の解決すべき課題
道路整備の必要性	道路整備の必要性、検討にあたって配慮すべき事項

■アンケート配布範囲



3. 意見聴取の対象

住民アンケート（全戸配布）：約76,000戸							
茨城県	高萩市	11,665世帯		福島県	いわき市勿来地区	18,336世帯	合計 75,725世帯 全戸配布
	北茨城市	16,885世帯			いわき市小名浜地区	28,839世帯	
企業アンケート：163社							
茨城県	茨城県トラック協会 県北支部所属企業				41社		163社
福島県	福島県トラック協会 いわき支部所属企業				122社		
企業ヒアリング							
茨城県	経済団体	商工会	5 団体	福島県	経済団体	商工会	4 団体
		J A				J A	
		観光協会				観光協会	
	医療機関		3 機関		医療機関		3 機関
	運輸関連業者		1 社		運輸関連業者		5 社
	教育機関	大学	2 校		教育機関	大学	4 校
		高校				高校	
	観光事業者		5 社		観光事業者		4 社

4. アンケート調査項目と活用方針

アンケートの質問項目	アンケート結果の活用	備 考
道路交通及び地域の課題	国道6号、地域の現状について、回答者の認識を確認し、回答者の考える課題を把握する。	第1回
道路整備の必要性	茨城県北茨城市～福島県いわき市間における道路整備の必要性を把握する。	
比較ルート帯案(複数案)に対する意見	道路整備において、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視する項目について把握する。	第2回
回答者の属性、利用状況	回答結果の差異に対して各分類で整理し、分析する。	共 通
その他自由意見	その他、茨城県北茨城市～福島県いわき市間に関する意見を幅広く聴取し、計画策定の参考とする。	

5. アンケート案

■第1回アンケートにおける調査方法および質問内容

①調査概要

⇒本調査の趣旨・調査対象箇所の提示・今後の手続きの流れ

一般国道6号 茨城県北茨城市～福島県いわき市間（勿来バイパス）の 計画検討に関する第1回アンケート調査



②国道6号(茨城県北茨城市～福島県いわき市間)の現状

⇒現国道6号における道路交通及び地域の課題の提示



アンケートに関するお問い合わせ先

国土交通省 磐城国道事務所 調査課 国土交通省 常陸河川国道事務所 計画課
TEL 0246-23-0963 (直通) TEL 029-240-4067 (直通)

5. アンケート案

■第1回アンケートにおける調査方法および質問内容

③質問事項

- ⇒○ 国道6号及び地域の現状における課題
- 道路整備の必要性等を確認

質問①

あなた自身についてお聞きします。国道6号(北茨城市からいわき市間)の利用頻度について、あてはまる番号を1つ選び、回答欄の□にチェックをお願いします。

1	毎日	4	ほとんど利用しない
2	週に数回程度	5	利用したことがない
3	月に数回程度		

質問②

北茨城市からいわき市間の主な利用目的についてあてはまる番号を全て選び、回答欄の□にチェックをお願いします。
(複数回答可)

1	通勤・通学	4	仕事(営業・運送等)
2	通院	5	観光・レジャー
3	家事・買い物	6	その他()

質問③

国道6号(北茨城市からいわき市間)にはどのような課題があると思いますか？ あてはまる番号を全て選び、回答欄の□にチェックをお願いします。
なお、「7.その他」を選んだ方は「その他」の欄に課題と思われることをご記入下さい。

1	交通渋滞の発生(朝・夕や観光シーズン等)
2	交通事故が多い
3	通行止め時、迂回路が遠い
4	救急病院へ行くのに時間がかかる
5	災害時の通行(避難)に不安がある
6	課題は無い
7	その他()

質問④

国道6号(北茨城市からいわき市間)に道路の整備は必要だと思いますか？あてはまる番号を1つ選び、回答欄の□にチェックをお願いします。

1	必要だと思う	質問⑤へ ➡
2	どちらかと言うと必要だと思う	質問⑤へ ➡
3	どちらかと言うと必要だと思わない	質問⑥へ ➡
4	必要だと思わない	質問⑥へ ➡
5	どちらとも言えない	質問⑦へ ➡

質問⑤

今後の道路整備の検討にあたって配慮すべき事項があればお聞かせ下さい。

質問⑥

必要だと思わない理由についてお聞かせ下さい。

質問⑦

その他ご意見がありましたらお聞かせ下さい。

※アンケートハガキは、お近くの郵便ポストへ
平成25年8月18日まで投函をお願いします。

5. アンケート案

■第1回アンケートにおける調査方法および質問内容

④アンケート返信用はがき

■回答方法

- ・回答は、返信用はがきに記入し、郵便ポストに投函。

■締め切り

- ・平成25年〇月〇日まで。

(表面)

郵便はがき

料金受取人払郵便

〇〇郵便局 承認

差出有効期間
平成25年〇月
〇日まで
(切手不要)

福島県いわき市平字五色町8-1

国土交通省 東北地方整備局
磐城国道事務所 調査課
〇〇 行

|||||

ご協力お願いいたします。

あなたについてお聞かせください。

年齢	☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上	性別	☐ 男 ☐ 女
職業	会社員・公務員・自営業・農業 漁業・学生・主婦 その他 ()		
住所	[] 都・道・府・県 [] 市・町・村 地区名 []		
運転免許	☐ あり ☐ なし		

※個人情報同意なく第三者に開示・提供することはありません。
(法令により開示を求められた場合を除きます。)

回答者属性
を確認

(裏面)

質問	記入例を参考に記入してください
①	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5
②	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 6 その他 ()
③	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 6 その他 ()
④	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4
⑤	
⑥	
⑦	

ご協力ありがとうございました。